

炉物理部会運営委員会(炉物理部会全体会議報告用)

## 1.日時

2018年2月22日 13:30～15:30

## 2.場所

JAEA 東京事務所 第一会議室

## 3.参加者

小原（東工大）、北田（阪大）、卞（京大炉）、千葉（北大）、藤村（日立製作所）、須山（原子力機構、オブザーバー）、桐村（三菱重工）、山本（名大）  
（順不同、敬称略）

## 4.議事概要

### 4.1 炉物理部会に関連する会議・会合について

- ・ 炉物理夏期セミナー、炉物理専門研究会、RPHA などの位置づけ及び炉物理部会としての関与の在り方について議論。
- ・ 夏期セミナーについては、学生及び社会人若手を対象と想定し、内容も含め部会として中・長期的な計画を立てることが望ましい、日程をより短くすべき、炉物理専門研究会と合体させてはどうかなどの意見あり。
- ・ 炉物理専門研究会については、学生及び社会人が長時間の発表・質疑をする場として想定。炉物理部会が運営により主体的にかかわることが望ましい。
- ・ RPHA については、2019 年の日本開催については、炉物理部会として取り組む。その後の運営の在り方については、要検討。

### 4.2 RM のアクションプラン関係

- ・ 共通の基盤として、教科書が必要であるとの認識で一致。
- ・ 部会に人材育成 WG を設置し、その活動の一つとして教科書の作成を含めて検討する方向。また、学会で 2007 年に作成した教科書を何らかの方法で活用できないかについても検討の余地あり。

### 4.3 炉物理部会の課題、その他

- ・ 運営委員の任期などについて意見交換。必要に応じて内規の改定などを行うことに。

（文責：山本）

以上